

24年宿泊県内3.9%増

観光庁統計 31都道府県で増加

東京・京都訪日客が過半

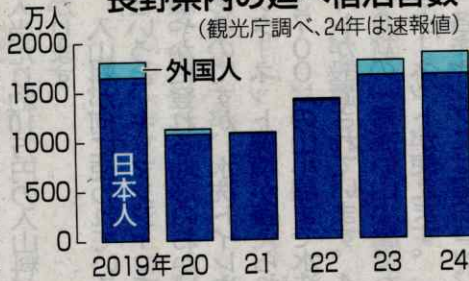
観光庁が28日公表した2024年宿泊旅行統計によると、日本人と外国人の延べ宿泊者数が23年より増えたのは長野など31都道府県に上った。うち外国人は円安を背景に高知を除く46都道府県で増加し、東京と京都は調査開始以来初めて、年間で日本人を上回った。東京、大阪、名古屋の三大都市圏の外国人宿泊者は地方を大きく上回ったまま

観光庁が28日公表した2024年宿泊旅行統計によると、日本人と外国人の延べ宿泊者数が23年より増えたのは長野など31都道府県に上った。うち外国人は円安を背景に高知を除く46都道府県で増加し、東京と京都は調査開始以来初めて、年間で日本人を上回った。東京、大阪、名古屋の三大都市圏の外国人宿泊者は地方を大きく上回ったまま

まで、地方分散に向けた一層の取り組みが求められる。24年の延べ宿泊者数は23年比5.3%増の6億5028万人で過去最多だった。うち外国人は38.9%増の1億6360万人、日本人は2.6%減の4億8668万人。長野県内の延べ宿泊者数は前年比3.9%増の1867万760人。新型コロナウイルス前の19年を3.4%上

長野県内の延べ宿泊客数

(観光庁調べ、24年は速報値)



り、都道府県別では11番目に多かった。内訳は日本人が前年比0.1%増の1643万人、外国人が前年比0.1%増、外国人は前年比46.4%増の218万6010人

観光庁は今年1月の1次速報も公表。宿泊者は全体で前年同月比9.6%増の5004万人。1月として最多だった。

(19年比38.6%増)だった。都道府県別で全体の増加率が最も高いのは石川の36.0%で、鳥取31.8%、岐阜24.1%と続いた。19年比の増加率は東京が40.5%、石川29.0%、栃木25.4%だった。

外国人宿泊者のうち、三大都市圏に泊まったのは1億1360万人で69.4%を占めた。東京では宿泊者全体の51.5%、京都は50.1%が訪日客だった。

従業員数が10人以上の宿泊施設を調査対象とした長野県内の国・地域別の外国人宿泊者数は、台湾が最多で35万9700人。次いでオーストラ

リアが14万4610人、香港が14万1500人、中国が12万4160人だった。

宿泊施設の種類別に見た県内の客室稼働率は「ビジネスホテル」が74.4%、「シティホテル」は72.9%、「リゾートホテル」は37.2%、「旅館」は28.1%、「簡易宿泊」は14.5%。全体では39.8%で前年より1.0%増加したが、全国では最下位だった。